

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専門学校麻生看護大学校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

自己点検・評価 報告書

専門学校 麻生看護大学校

平成28年 5月 1日

校 長 安藤 廣美

自己点検・評価責任者

校長代行 百瀬 栄美子

目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 5 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 7 -
基準 5	学生支援	- 9 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 11 -
基準 7	社会的活動	- 12 -
基準 8	管理運営	- 13 -
基準 9	財 務	- 15 -
基準 10	改革・改善	- 16 -

平成27年度
(2015年度)

評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する (不適合)

基準 1 理念・目的

項目総括

教育理念「敬愛、叡智と技、豊かな感性」は、開校当初より明文化され教職員、ならびに社会に周知されています。

本校の教育は、生命・人間尊重に基づく敬愛の誠心を基本姿勢としています。さらに専門職業人としての誇りと責任のもとに、叡智と技を磨き、豊かな感性を身に付け、国際的且つ学際的視野に立ち、自己研鑽できる態度を育成することを基本理念としています。

また教育理念・目的・目標等については、学生要覧等・パンフレット・ホームページ等で広く公表することで透明性を遵守しています。加えて、ドラスティックに変化する社会情勢・医療情勢を鑑み、具体的な教育内容・方法については、常に精査を図ることで社会が求める看護実践能力の向上に向けた教育を遂行していると判断しています。

主な課題及び改善の方向性

外部講師については、教育理念等の浸透が課題です。また、学校関係者に対しては単なる公表のみに留まらず、人材育成像を広く周知していくことが課題です。

加えて看護大学との違いの中で、専門学校の社会的役割における【臨地看護師の育成】という視点から、専門学校存在の意義ならびに本校の地域貢献についての考え方などを発信効果を踏まえながら、時期・方法・媒体の精選などが課題と捉えています。

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

教育理念「敬愛、叡智と技、豊かな感性」は、開校当初より明文化され教職員、ならびに社会に周知されています。

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

Web サイトや印刷物等で社会に公表している。学生要覧に記載がある。学生は、理念等がどこに記されているか知ってい

る。理念の「敬愛」「叡智と技」「豊かな感性」の意味を知っている。全教職員、講師が教育目標と科目とのつながりがわかる。学生には、入学時に説明を行っている。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学校の理念、目的、教育目標、教育方針、行動規範、ビジョン、校訓、GCBの考えが記されたカードを携帯している⇒前記の項目の意味を理解できている。

外部講師については、教育理念等の浸透が課題である。講師会議や講義依頼、また実習依頼において、本校の教育方針も含む説明の時期・あり方等が今後の課題であるとする。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

前期・後期末に教育理念、年間教育方針に沿った評価を行っている。今後、更に教育理念に沿った教育が行えているのかの評価が必要であるとする。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

各学科の教育目的や育成人材像は、法人の理念と各校の教育理念から展開したのものになっている。例年、4月にキックオフを行い、理念、方針による年度計画の報告を行っている。また、半期ごとに同資料を基に評価を行っている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

Web サイトや印刷物等で社会に公表している。学生要覧に記載がある。学生は、理念等がどこに記されているか知っている。理念の「敬愛」「叡智と技」「豊かな感性」の意味を知っている。全教職員、講師が教育目標と科目とのつながりがわかる。学生には、入学時に説明を行っている。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

専任教員は、全員「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に従った教員である。

例年、不足する物品の購入申請を行っている。例：技術演習人形は、高額のため2年ごとに購入希望を提出している。28年度は、厚労省の指針により水銀血圧計からデジタル式血圧計への変更の基、予算承認を得ている。

基準 2 教育の内容

項目総括

教育目標や人材育成像は「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、医療や看護実践の現状及び社会のニーズを踏まえて各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。また、カリキュラム作成においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づく専任教員から構成され、毎週カリキュラム検討会を継続しています。ここでは、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(関連病院)教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成編成を行っています。また「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」の教育時間のほかに、教育外活動を3年間で183時間/設定しており看護科がめざす教育目標到達や人材育成に努めています。

カリキュラムは、体系的に編成されており、各科目間のつながりも適正です。科目ごとのシラバスも作成されており講義前に学生に配布し、到達目標・評価・参考資料等を説明しています。授業評価は学生アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋げています。教員については、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」が定める要件を満たしており、学科の育成目標に向けた講義を行なうことができます。

専任教員の人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。成績評価・単位認定は明確に定められており学生要覧で周知しています。

主な課題及び改善の方向性

今後も広報担当を中心に高校側からの情報収集・分析をもとに、教育内容はもとより、特に多様な学生を受け入れる現在においては、教育方法のあり方が要検討と考えています

加えて、現状のリメディアル(導入前教育、補習)教育のあり方を検討し、専門職者としての動機付けに加え、社会人基礎力の強化も図っていくことに努めます。

また業界ニーズのリサーチも体系化しつつ、学校・病院側との連携強化を今以上に図るよう努めます。

平成28年度も、外部からの有識者も交えた会議を実施し、カリキュラムに直接意見を取り入れて参ります。また他の高等教育機関との連携講座等は今後の検討課題として推進して参ります。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム作成においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づく専任教員で構成しています。

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム構築の考え方や教育内容を文書化している。教員がカリキュラムの考え方を理解している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラムおよびシラバスは修業年限分を文書化している。印刷物による配布など、学生に周知させる方法は、パンフレット、学生要覧、口頭説明で周知し有効・適切である。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム委員会が設置され、外部者がカリキュラム検討委員会メンバーとなり、定期的に委員会を行っている。

広報活動も専任教員が一部行い、且つ広報担当とも容易に情報交換できる環境にある。加えて職業実践専門課程の評価委員として、高校側からも高校生の気質を含む現状等を入手し懸案した上で、リメディアル教育内容にも反映することが出来ている。よって高校生の現状及び、社会のニーズを反映する組織体制となっている

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

本校教育理念および、厚労省(5 群 73 項目)の考えに耐え得る評価を行っている。教科間で重複しないよう、また学科の教育目的に沿っているか、学期開始前までに効果の検証を実施。

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

カリキュラム作成においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づく専任教員から構成され、毎週カリキュラム検討会を継続しています。ここでは、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(関連病院)教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成編成を行っています。

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

随時、結果に基づき教員に対しては、面接指導を行い、改善策を検討している。改善計画書をもとに改善活動しており、管理職と計画を共有し、管理職によって進捗管理している。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

両科教員による領域別学習・テーマ学習により教育の質の担保が維持できていると判断する。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

専門分野や担当分野に関する研修参加を行っている。

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育目標や人材育成像は「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、医療や看護実践の現状及び社会のニーズを踏まえて各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特に経年のないもしくは経年の少ない領域担当教員については、企業(病院・施設)への研修を課し、実施できている。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学後、GCB教育を行いカリキュラムおよび教科外活動に組み込んで実施している。日々及び定期的なマナー、ビジネス教育が行われている。半期ごとに教育の実施、評価が行われている。日々及び定期的なコミュニケーション教育が行われている。半期ごとに教育の実施、評価が行われている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生に対するリメディアル教育が行われている。その実施と評価が行われている

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。教育環境においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき環境設備を行っています。

中でも図書環境は両科の図書担当教員・学生図書委員により年次計画のもと、学生の書籍数・内容につきましては、学習環境の整備に万全を期しています。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、且つ学校生活における行事や臨地実習先での事故・寮生活における災害に対しては学校保険に加入し、万全の体制で臨んでいます。

防災につきましては、年に一度全教職員・学生の訓練に加え、3年生は関連病院主催の大災害訓練、2年生は防火訓練に学生全員が臨み、防災意識を高めるべく実体験を通して学びを深めています。

主な課題及び改善の方向性

学校施設・備品関連で、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、教育環境の整備体制を図っています。がしかし大学を鑑みると、図書環境一つをあげても、指定物品については、十分に設置できています。基礎教養的科目であるリベラルアーツの視点での図書の整備に改善点を要すると考えています。この点は、専門学校というカリキュラムの制限の中で、選択制がとれず、すべて必修科目制ゆえに教育内容における制限がかかっている現状です。ゆえに図書の整備によって、教育理念に基づく豊かな感性の追求へとつなげていきたいと考えています。

また、物品管理者を決め定期的な物品点検管理を行い、教育環境整備においては文書化を図っています。が今後は学校側は管理体制を重視しながらも【看護専門職者育成】を目指す学校ゆえに、自治会主導へと発展させる教育指導へと変革していくことが改善の視点だと考えています。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、専任教員を適切に配置している

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生が学習日誌を書き、それを専任教員が非常勤講師との口頭での確認を行っている。

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育環境においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき環境設備を行っています。中でも図書環境は両科の図書担当教員・学生図書委員により年次計画のもと、学生の書籍数・内容につきましては、学習環境の整備に万全を期しています。

小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、冊数、分野ごとの整備を行っている。学生が利用できる環境は整えている。

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。しかし、看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していない。

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校賠償責任保険、学生・生徒災害傷害保険に加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。感染症に対する抗体化を確認し、ワクチン接種を確認している。

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。1回/年に教職員および、在校生が参加して防災訓練を実施している。

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学内の整理・整頓・清掃に関するルール等を文書化し教室などに掲示している。学内の整理・整頓に関して担当を決め、定期的に管理、チェックしている。

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても
行っている。

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

卒業生の大半が関連病院に就職するため、関連病院の職員からの就職説明の場を提供しています。また進学者、他施設への就職相談も随時実施し、そのための相談窓口・施設設備も備えています。また経済的な教育環境の視点としては、希望者には関連病院の奨学金貸与ならびに日本学生支援機構、各銀行等の紹介を入学前ほか随時行い、より良い学習環境作りの一助になるよう努めております。結果、経済的理由での退学者は0%を維持しています。

看護科通信課程の就職相談につきましては、職場推薦による入学のため積極的な支援は控えています。しかし学生からの卒業後就職先相談につきましては、随時募集パンフレットなどを基に、専任教員が相談面接を実施しています。また内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週実施している定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

評価・成績・資格・検定・出席状況・退学に関しても会議にて担当者から毎月の実施・結果・分析・方針等の報告があり専任教員間で共有を行っている。担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員で共有しています。

主な課題及び改善の方向性

キャリアデザインの達成度を含む卒業生の追跡調査を企業との連携のもと努めていきます。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

評価・成績・資格・検定・出席状況・退学に関しても会議にて担当者から毎月の実施・結果・分析・方針等の報告があり専任教員間で共有を行っている。

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キックオフ資料(学年)に記載し全教員が共通認識している。また、学年毎。個人ごとの月例報告が行われ、その都度目標及び指導方針・方法を明確にし全教員が共通認識を行ったうえで指導に当たっている。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 4-1-1と同じ

小項目 4-1-3

該当なし

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。学内生活3年間で社会人教育を実施している。通信課程では、卒業後、新たな職場への転職希望者に関しては、学生記録をもとに就職援助を行っている。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科・各クラスとして目標を設定している。卒業率向上の意義を教職員が理解し共有している。
目標設定に基づいて効果的な指導だったか検証・報告している。

退学率などを、保護者や高校教師に対して、学校通信などに掲載し報告している。
指導内容や指導方法の見直しを行なっている。

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

データや紙ベース等の所定の書式で記録を残している。個人情報の管理については、十分留意している。

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生の大半が就職する関連病院との情報交換により就業者の状況の把握ができる仕組みを確立している。特に1年目の卒業生には、卒業後半年にコミュニケーションを図るための機会を設けている。

基準 5 学生支援

項目総括

本校への求人数(就職・進学)は、例年増加傾向にあります。本校では、看護師免許を取得することを目標に入学しているため、看護師免許取得への学生支援は、十分に行っています。

実績として、看護師国家試験合格率では、看護科 98.2%(全国平均約 90%台)通信課程82.6%(通信課程全国平均77.1%)、と高い合格率を保っています。通信課程では、看護師国家試験に不合格者については、次年度合格に向けてチューター制を図り、学習支援を行っています。卒業後は、専門職業人として就職する学生や新たな実践能力取得を目指し進学する学生もいます。

学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は各種奨学金について事務局を主に有効に稼働しています。学生の健康管理については、入学前に感染症抗体検査を行い、必要時ワクチン接種を実施し、臨地実習体制を整備しています。また、毎年健康診断を行っており、学校医の指示のもと予防措置等を行っています。

保護者との連携は、各学年の保護者会をベースとして、必要時三者面談も付加して、連携強化を図り、問題学生への早期対処を円滑に行い、退学率 0%の実績を上げています。

同窓会組織「芙蓉会」「桔梗の会」より郵送による定期的な情報提供を実施しています。(2年に1回総会開催)

主な課題及び改善の方向性

保護者へは学校の指導方針など、保護者会を利用して伝えていますが、現在のところ保護者会(後援会等)の組織化までは至っていません。

平成 25 年度に「保護者会」の設立について、在学生の保護者に意見を聴収しました。保護者からは、保護者会の設立を希望する意見はなく、まずは保護者間が意見交換できる機会を設けてほしいとの要望がありました。平成26年度、27年度については、保護者会で任意的に保護者間が意見交換が行える機会を設けましたが参加者はありませんでした。平成28年度については、随時判断していく予定です。

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

本校では、看護師免許を取得することを目標に入学しているため、看護師免許取得への学生支援は、十分に行っています。

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

前期・後期の担任面接且つ随時、担任による面接が行われている。面接の結果が教員間で共有している。看護科通信課程では、担当教員が学生の相談に当たっている。学生との面接や行動及び指導の結果の記録がある。また、全教員共有できる。基本的に担任・学生担当者が窓口となり学生の相談に応じている。相談結果は、看護科・通信課程の主任へ報告・相談する体制を整備している。難事例に関しましては、看護科・通信課程の主任がこれに当たる。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。しかし、看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していない。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

臨床心理士による相談室設置あり、学校カウンセリングとして機能している。過去に難事例を幾度も解決に導いている。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する報告はない。臨床心理士による相談室設置あり、学校カウンセリングとして機能している。ハラスメントに関する規程が文書化され、相談窓口も明確化しており、教職員は全員内容を周知している。

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保護者との計画的な相談会・面談を行っている

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

奨学金支援制度等の経済的支援がある。看護科は、関連病院からの奨学金制度があり、入学前・後に説明を行っている。通信課程では、就職先の病院からの奨学金制度あり。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していない。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

寮生の要望などを定期的に聞き取り、食事内容、寮則また、随時通学路点検を行い安全確保に努めている。並びに、罰則等について改善を行っている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

課外活動(茶道、書道等)の顧問を非常勤として招き指導を依頼している。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生が就職した病院(関連病院)と情報交換を密に連携して計画的に支援を行っている。関連病院の看護師教育については、本校教員が会議に参加し意見を述べる機会があり、組織的体制が整備されている。

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「桔梗の会」「芙蓉会」として活動している。会則がある。

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して求人紹介を実施している。校友会組織が講習・研修を実施している。母体病院側から新入職員の動向については、定期的に情報入手とともに情報交換が出来ている。経年的な動向については、同窓会名簿で毎年 8 月に確認が出来ている。

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生が就職する病院(関連病院)から新入職員の動向については、定期的に情報入手とともに情報交換が出来ている。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

同窓会組織「芙蓉会」「桔梗の会」より郵送による定期的な情報提供を実施しています。(2年に1回総会開催)

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。Web サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。Web サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。Web サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

小項目 5-3-16

該当なし

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

学生募集活動は、募集要件を文章化且つ、ホームページおよび、パンフレット等で公表している。説明においても、学生および、保護者に説明を行っています。入学試験面接および、入学選考は、学校関係者、広報担当者、関連病院関係者など幅広い面接間により選考が行われています。入試選考基準についても、内規基準を文章化し、公正かつ適切に実施していると判断しております。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡且つ、高校へは直接選考結果を説明しております。

主な課題及び改善の方向性

今後もできる限り透明性のある説明を心がける予定です。

中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学者選考の実施方法や選考基準についても定期的かつ適切に検証し、全教職員が共有している。

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

入学事前説明会を通じて、寮生活・学校生活について、また学習支援体制についてのオリエンテーションを実施している。また、入学後にもオリエンテーションの時間を設け説明と同意に取り組んでいる。

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生要覧、パンフレットなどに育成する学生像を記している(教育理念)。学生、教員は育成人材像を理解している。教員は、育成人材像を意識した指導が行えている。

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生要覧、パンフレットなどに上記を記載している。教職員は、前記の所在を周知している。全教職員は、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法を明示して、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

選抜方法は印刷物等で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施している。入学者選考の実施方法や選考基準について、定期的かつ適切に検証している。

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校情報は、ホームページにて一般公表している。内容に関しては、学生を通じて保護者へ伝えている。学生の資格取得、就職情報を書面にして適宜訪問し、報告している。定期的な情報誌発行発信はない。

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」を遵守した学科ごとの入学定員に対する入学者数比率および収容定員に対する在籍学生数比率は適切である。収容定員に対する在籍学生数のは、ほぼ定員数通りである。

基準 7 社会的活動

項目総括

教員は、教育ノウハウを活用した実習指導者講習会・専任教員研修会へ講師として派遣する行政との連携は整備しています。また看護学校協議会理事会との連携のもと、各ブロック活動も定例化し教育の質向上に貢献しています。

国内外からの教育施設見学なども受け入れ、積極的に社会貢献を進めています。

学生のボランティア活動は、関連病院側および地域との連携のもと、毎年各学年へ引き継がれるという常設ボランティア活動が根付いています。

主な課題及び改善の方向性

地域貢献を目的とした公開講座は今後も積極的に実施して参ります。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしている

* 専門学校協議会、日本看護連盟、日本看護協会等。

行政の依頼を受け、出張講義・指導を行っている。また、研修生の受け入れを行っている。

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施している。目標に掲げるボランティアポイント数に達しない場合は、目標達成するよう指導が行われている。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしている。

* 専門学校協議会、日本看護連盟、日本看護協会等。

上記において定期的な会合に参加し、報告書の提示がある。参加内容は、学生指導・講義において活用している。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地域に向けて公開講座を行なっている。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

行政の依頼を受け、出張講義・指導を行っている。また、専任教員研修生の受け入れを行っている。

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底に努めています。

学校運営に関しては、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、ならびに看護師養成所の運営に関する指導要領、手引きに基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

事務職員および通信課程の専任教員は、麻生塾の人事考課に準じ、看護科の専任教員は、関連病院の人事考課に準じています。

主な課題及び改善の方向性

「危機管理」に関して、様々な状況において迅速かつ適切な対応ができるよう周知徹底を行います。

職務分掌のさらなる整備と、人事異動等発生時の迅速な業務の再編成や対応が可能となるよう改善を行います。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校運営に関しては、「看護六法」、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」等に基づき、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

運営会議は定期的開催しており、学校運営に関する諸々の事項を決定している。議事録がある。理事会同様、定例の評議員会を開催し、法人の業務のうち、重要な決定事項の諮問、意見具申の場としている。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾の構成員の職務分掌を文書化しており、各人はそれぞれの職務内容を認識している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示まではいっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。1回/年に教職員および、在校生が参加して防災訓練を実施している。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

個人情報保護規程を文書化して閲覧可能な状態となっている。教職員は全員内容を周知しており、規程に沿った行動が行えている。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する規程が文書化され、相談窓口も明確化しており、教職員は全員内容を周知している。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学校の管理運営組織が目標を達成に向けて充分機能するよう、本部作成の事務職員の資質向上のための研修計画があり、実施している。教員については専門分野に基づいた研修計画があり実施している。

=====

基準 9 財務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、四半期ごとに経営会議に報告しています。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理をおこなっています。その上で各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い正しい会計処理・運営に関して指導をおこなっています。外部監査も毎年受け承認を受けています。

主な課題及び改善の方向性

固定資産の管理について少額資産について既存資産の確認、資産(備品)の学内及び学校間移動により実態把握が困難となる場合があります。移動ルールの作成及び資産の既存試算の把握の為の管理方法として固定資産管理規程の作成及びバーコード管理等の検討が急務として既に実施に入っています。

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特記事項なし

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算が策定され適切に管理運営している。中期計画も策定され実施に向けて計画・準備している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

月次予算が作成され、毎月の実績確認と管理・改善が行われている。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「看護六法」、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」等に基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

基準 10 改革・改善

項目総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ等で共有する機会を設けています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

特記事項なし

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。自己点検・評価活動を動かす委員会が組織され、各職場で委員が中心となり、自己点検評価活動が行われている。定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信され、教職員が理解を深めている。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信され、教職員が理解を深めている。改善活動に取り組んでいる。毎年定期的に自己点検・評価が行われ、改善計画を作成し、実行している。改善状況については、内部監査にて検証している。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

委員会により評価結果を文書化している。自己点検・評価の結果を公表できる体制が整っている。